

《担当者名》常田 美和 [tsuneta@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

母性看護学領域の博士論文のテーマに関連する先行研究の実施状況を系統的に調べるとともに、研究課題や研究方法論を検討する。各種の研究手法のメリットと限界、倫理的に必要な配慮などについて学習を深め、研究を遂行する能力を身につける。

【学修目標】

自己の研究課題を見出し、研究計画を立案することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 10	文献検討と研究課題の明確化	文献講読と批判的考察を通して、研究課題を絞り込む	常田
11) 20	研究方法の検討 1	研究課題を明らかにするための研究方法を選択し、研究計画を立案する	常田
21) 30	研究方法の検討 2	研究計画にもとづいて、予備調査・実験を行い、その妥当性、適切性を検討する	常田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献検討(30%)、研究計画作成(50%)、予備調査・実験の実施(20%)

【教科書】

開講時に案内する

【参考書】

随時紹介する

【学修の準備】

事前に指定された課題に沿ったプレゼンテーションの準備をして講義に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。